



実践報告2024

ふだんのくらしのしあわせ

～ともに学び ともに育ち ともに生きる～



ふくしボランティア
デビュー!!

ゆうゆうサマースクール
(夏休みの子どもの居場所)

現在8人活動中

ふくしボランティアとは

社協とともにふくし教育を実践していくボランティアグループ

心に響く
体験を



社会福祉法人
交野市社会福祉協議会
アカウント名: 交野市社会福祉協議会



ふくし学習の様子



①視覚障がいについて

内 容:視覚障がいについて、点字ブロックの紹介、アイマスク体験
車椅子体験

実 施:ゆうゆうセンター

協力者:かたの福祉会

～おとなたちの声～

- ・紙飛行機をアイマスクをつけておる体験で、口を出しすぎず見守ることが優先だとわかった。
- ・福祉は全ての人のための物だと感じた。視覚障がい者の方との関り方を考え直すきっかけになった。

②赤い羽根教室(共同募金について)

内 容:赤い羽根教室、やってみよう 募金ボランティア

実 施:私市小学校5年生

協力者:ふくしボランティア

～こどもたちの声～

- ・赤い羽根共同募金のお金は、公園のウォーターサーバーにも使われていることは知りませんでした。
- ・募金と寄付の違いは一緒だと思っていたけど、全然違うということを知りました。



③ボランティア活動者(地域住民)との交流

内 容:手作りおもちゃ体験

実 施:交野支援学校高等部1年生

協力者:おもちゃ作りとニュースポーツ・演芸「玉手箱」
ふくしボランティア

～ボランティアの声～

- ・自分たちに何ができるか考えないといけないと思った。
- ・誰かのサポートが必要な方々にとって、ボランティアは貴重な存在だと思った。

④点字ブロックについて知ろう、福祉マーク

内 容:点字ブロック体験、福祉マーククイズ

実 施:郡津小学校4年生

協力者:ふくしボランティア、交野市視覚障害者福祉会
交野市立図書館

～こどもたちの声～

- ・すすめ(誘導ブロック)と、とまれ(警告ブロック)のブロックの違いが意識して歩くとわかった。
- ・見たことはあるけど、意味は知らなかった。





⑤高齢者疑似体験&福祉マーク

内 容: 高齢者疑似体験、福祉マーククイズ

実 施: 私市小学校5、6年生

協力者: ふくしボランティア、私市小学校区福祉委員会、交野市視覚障害者福祉会

交野市社会福祉施設地域貢献連絡会

(心生会、豊年福祉会、かたの福祉会、交野自立センター)

～こどもたちの声～

- ・体験して、高齢者の大変さがわかった。
- ・高齢者の人を思った行動ができるようになります。
- ・高齢者の方があんな不安な世界で生きているなんて知りませんでした。

～協力事業所 職員の声～

- ・普段支援していることを子どもたちに伝えることの重要性を感じました。
- ・子どもたちの目線を実際に知ることができ、新たな発見がありました。



⑥アイマスク体験

内 容: アイマスク体験、点字本、絵本読み聞かせ

実 施: 郡津小学校4年生

協力者: 朗読グループ「あい」、ふくしボランティア、郡津小学校区福祉委員会

～こどもたちの声～

- ・目が不自由な人を見つけたら道案内とかを教えようと思った!!!
- ・町で困っている人がいたら階段の段差を一緒に声を出して数えて伝えてあげたいと思った。



⑦点字体験

内 容: 点字の読み書き

実 施: 私市小学校4、5、6年生

協力者: 点訳「虹の会」

～こどもたちの声～

- ・点字の読み書きをして、障がいのある方々の大変さを知ることができました。
- ・たくさん集中して楽しく学ぶことができました。点字の授業を受けてみて、いろんな人を助けてあげたいと思いました。



⑧防災訓練

内 容: 高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験、車椅子体験

実 施: 駅前住宅地区(交野みらい小学校)

協力者: ふくしボランティア、学生ボランティア

交野市内の福祉事業所

(交野デイサービスセンターとまと・はなまるレンタルサービス

・デイサービスほつま)

～協力事業所 職員の声～

- ・車椅子体験を通じて、車椅子を必要とされる方の気持ちを理解する良い機会となったと思います。





社会福祉協議会について



社会福祉協議会(通称:社協)は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。

社会福祉法第109条に基づき、すべての都道府県と全ての市町村に設置されている福祉団体です。

交野市社会福祉協議会(社協)は「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進するため、さまざまな地域福祉活動を展開しています。



福祉(ふくし)教育とは



福祉(ふくし)

福祉は“しあわせ”や“ゆたかさ”を意味する言葉です。置き換えると「人をしあわせにすること」や「よりよく生きること」ということでもあります。

また「『ふだんのくらしのしあわせ』を実現させる営み」であると言われることがあります。自分のことだけでなく、周りの人も大切に思い、一人ひとりの考え方、生き方を尊重し「ともに生きる力」を培うことでもあります。

福祉教育(ふくし学習)

福祉教育は、子どもたちの健全な育成を進めるとともに、地域住民の学びを通じて地域福祉の推進を図る、地域に暮らす全世代を対象とした取り組みです。

身の回りの人々や地域との関わりのなかから「ふだんのくらし」のなかにどのような福祉的課題があるかを自ら学び、課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことで、ともに生きる力を育むことを目的としています。



社会福祉法人 交野市社会福祉協議会

〒576-0034

交野市天野が原町5-5-1
(ゆうゆうセンター3階)

TEL:072-895-1185

FAX:072-893-6423

